

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 5 日現在

機関番号：34315

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2016～2020

課題番号：16H06550

研究課題名（和文）越境的非国家ネットワーク：国家破綻と紛争

研究課題名（英文）Cross-border Non-state Networks: State Collapse and Conflict

研究代表者

末近 浩太（SUECHIKA, Kota）

立命館大学・国際関係学部・教授

研究者番号：70434701

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 76,000,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、新学術領域研究「グローバル関係学」の計画研究B02として、紛争や内戦などの結果発生する国家破綻状態、およびその権力の空白に出現する非国家主体による越境的ネットワークの、発生原因と展開過程、国際政治における位置づけを分析することを目的とした。シリア、イラク、イエメン、リビア、イラン、ソマリア、ボスニアの（潜在的）紛争国での同一デザインを用いた世論調査を実施し、越境的な政治現象やネットワークの存在、非国家主体の台頭に対する市民の意識を析出した。特に国家をめぐるエリートのディスコースだけでなく、市民からの受容のされ方に着目することで、エリートと非エリートのあいだの「関係性」を分析した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

グローバルな危機、特に紛争や緊張関係、およびその背景/結果として存在する社会的・政治的不公正や差別といった現代的諸問題が示していたのは、20世紀まで構築されてきた主権国家とそれを軸とした国際社会という近代社会科学的「常識」が崩壊（メルトダウン）し、社会の安定と発展を確保してきた諸制度が機能不全に陥っているという危機的な事実であった。この「新しい危機」を理解し解決するためには、それがローカルな社会関係から国家間、さらには文化・文明圏間の関係まで、複雑に関連しつつ広がっていることを認識する必要がある。本研究は、これを踏まえた「関係性」に着目した新たな知の創出としての意義を有する。

研究成果の概要（英文）：As the research group B02 of the 'Relational Studies on Global Crises', this study aimed to analyse the causes and development process of state failure resulting from conflicts and civil wars, and the transnational networks of non-state actors that emerge in the power vacuum, as well as their position in international politics. It conducted public opinion surveys using the same design in the (potential) conflict countries of Syria, Iraq, Yemen, Libya, Iran, Somalia and Bosnia to analyse the dynamics of transnational political phenomenon and networks and public attitudes towards the rise of non-state actors. In particular, this study analysed the 'relations' between elites and non-elites by focusing not only on the elite's discourses on the state, but also on the way it is viewed by citizens.

研究分野：地域研究

キーワード：地域研究 国際関係論 紛争 国家 非国家主体 世論調査 ナショナリズム

1. 研究開始当初の背景

21世紀に入り、グローバル化の進行によって、国家や地理的に規定された従来の地域を超えて共通・連動する諸問題が増えていた。その連鎖は、狭い地域でのローカルな問題として出現しながら、イシューによって世界大に拡散する傾向さえ示していた。特に紛争や緊張関係、およびその背景/結果として存在する社会的・政治的不公正や差別といった、人類全体が直面する現代的諸問題が示していたのは、20世紀まで構築されてきた主権国家とそれを軸とした国際社会という近代社会科学の「常識」が崩壊(メルトダウン)し、社会の安定と発展を確保してきた諸制度が機能不全に陥っているという危機的な事実であった。この「新しい危機」を理解し解決するためには、それがローカルな社会関係から国家間、さらには文化・文明圏間の関係まで、複雑に関連しつつ広がっていることを認識する必要があった。

だが、「新しい危機」のいずれの事象についても、現在までにジャーナリスティックな論考や短期的な政策提言は数多く出版されているものの、それらを分野横断的な包括的視座をもって総合的に分析した論考は、欧米諸国でも存在していなかった。その研究の不在自体が「新しい危機」の深刻さと未曾有さを示しており、既存の学問領域が個別では把握、分析しがたい事態が発生していることを表していた。ローカル・レベルからグローバル・レベルまでのさまざまな規模、レベルの主体間の関係性が、情報や思想、モノやカネ、人の移動のグローバル化などによって常に変動し、相互に影響しあうことを踏まえて、社会科学および地域研究を軸とした、分野横断的かつ実践的研究とそれを生み出す研究体制が必要とされていた。

2. 研究の目的

本研究は、新学術領域研究「グローバル関係学」の計画研究B02として、紛争や内戦などの結果発生する国家破綻状態、およびその権力の空白に出現する非国家主体による越境的ネットワークの、発生原因と展開過程、国際政治における位置づけを分析することを目的とした。とりわけ、国家破綻の背景にある紛争が個々の社会的結合や集団間の関係性をいかに変質させたか、という点に注目した。国家破綻から内戦、テロの蔓延という経緯をたどったソマリアの事例(遠藤)、中東地域においては、「イスラーム国」の進撃を受けて国家分裂の危機にあったイラクの事例(山尾)、同様に非国家主体の武装活動が宗派関係に影響を与え、国民統合を脅かしたレバノン(末近)とイエメン(松本)の事例、バルカン諸国における国家分断と紛争による社会変容が南東欧のみならず欧州地域全体の域内秩序をゆるがした旧ユーゴスラヴィア諸国の事例を、それぞれ扱った。また、比較の視座から、紛争国・潜在的紛争国として、リビアとイランの事例も扱った。

3. 研究の方法

(1) 紛争国での独自の世論調査の実施：これらの紛争国では統計データが得難く、また既存の世論調査でもとり扱われないか、不十分な結果しか得られていなかった。そのため本計画研究では、紛争の影響を受けた社会の意識変化に焦点をあてた調査項目を設定した。

(2) 同一デザインの調査・結果の比較研究：紛争を経験した複数の地域で同一デザインを用いて調査を実施することにより、既存研究にはないオリジナリティのある世論調査を行った。また、比較研究の視座から、上記の事例以外の紛争国ないしは潜在的紛争国(リビア、イラン)でも世論調査を実施した。

(3) 「関係性」に着目した分析と一般化・理論化：上記(1)(2)を通して、越境的な政治現象やネットワークの存在、非国家主体の台頭に対する市民の意識を析出した。特に、国家をめぐるエリートの政治的・規範的ディスコースの分析だけでなく、その受容のされ方を重要視した。すなわち、エリートと非エリートのあいだの「関係性」に着目した分析を行った。

4. 研究成果

本研究では、まず、今日の紛争が周辺国や国際社会全体に影響を与える「グローバルな危機」となり得るという現実を見据えた上で、地域研究、批判的国際関係論(Critical IR)、ポストリベラル平和構築論(Post Liberal Peace-building; PLPB)などを援用しながら、紛争を単なる近代西洋国家を範とする国家観からの逸脱や失敗と捉えることを批判的に再検討した。そして、「理念的な国家」から距離を置きながら、現代世界に存在する「経験的な国家」、すなわち、近代西洋国家の条件を満たさないものの、実質的に国家として機能している状態の実態解明を目指した。現行の国家が紛争を経験した際、それを理念型の崩壊・解体の危機として捉えるだけではなく、現代世界において国家がそのあり方を根底から変えようとする契機と見なす立場であった。これに基づき、紛争を、「統治機構の再整備だけでなく、領域や主権、国民の再定義もが同時並行的に進んでいくプロセス」である「国家変容(state transformation)」の一環と位置づけた。こうした考え方は、従来の「失敗国家」「崩壊国家」「脆弱国家」の概念の問い直しの契機となった。

次に、シリア、イラク、ソマリア、ボスニア、リビア、イランといった、これまで世論調査の実施が困難であった紛争国に関して、現地ないしは第三国(周辺国)の世論調査機関とのコネク

ションを確立し、実査の委託を行った。これらの国での世論調査結果が示したのは、そこで暮らす人々が想定以上に既存の国家や国民の存在を受け入れるか、場合によっては肯定していた傾向であった。しかし、それは、紛争を契機に活動が盛んになる傾向を持つ非国家主体と越境的なネットワークの影響力が不在であることを意味せず、むしろ依然として紛争や「国家変容」をもたらし得る要因として存在している現実が、世論調査結果から浮き彫りになった。重要なのは、こうした要因、すなわち、既存の国家や国民の相対化を望む人々がどのような属性や傾向を持つのかであり、世論調査では、例えば、居住地域や紛争経験の度合い、世代の違い、諸外国に対する認識などの違いが国家や国民に対する認識に大きく影響していることが明らかになった。こうした紛争国における「国家変容」を後押しするような人々の属性まで分析した研究は、世界的にも皆無であり、その点において学術的な意義は大きいものと考えられることができる。

これらの研究成果については、独自のウェブページに単純集計・記述統計を公開するだけでなく、国際ワークショップや国際会議の開催を通して（日本、セルビア、タイで開催）、国内外に発信することに努めた。また、ISA や IPSA といった国際学会でパネルを組織し、まとまったかたちで成果公開することで、本研究の課題である「越境的非国家ネットワーク」の実証研究、さらには、「グローバル関係学」の理論化に向けてのフィードバックを得た。なお、世論調査、現地調査（フィールドワーク）、国際会議については、2019 年度に COVID-19 のパンデミックが発生したことで実施・開催が困難となり、20 年度、21 年度に延期を余儀なくされた。

本研究の最終成果については、岩波書店から「シリーズ グローバル関係学」全 7 巻の 1 冊（第 4 巻『紛争が変える国家』）として取りまとめられた。そこでは、国家のあり方をめぐって生起する様々な主体による「交渉」に着目する「下からの視座」を採用することで、法制度上の「理念的な国家」から距離を置き、「経験的な国家」の実態解明が可能となると論じられた。

具体的には、以下のようなかたちで、2 つの「関係性」に着目した越境的非国家ネットワークの分析の視座を提示した。

第 1 の「関係性」は、エリートと非エリートとの「関係性」である。「国家のあり方を交渉する」ことに参画する主体は、国家主体、非国家主体ともにエリートが担うものと想定されがちであった。具体的には、当該国家の政府や諸外国の政府、国際機関、あるいは軍閥や武装勢力などが主体として取り上げられてきたが、これらの場合には、政治家や政治指導者、イデオログなどのエリートの言動が実質的な分析対象とされてきた。これに対して、本研究では、紛争経験国に立ち現れる（規範的な国家ではなく）経験的な国家の姿を捉えていく上で、従来の研究が明らかにしてきたエリート中心の主体が掲げる国家のあり方だけでなく、非エリートである一般の人びとの意識を析出することの重要性を示した。こうして、エリートの言説と、それに対する非エリートの認識を対比させることで、紛争国における「国家変容」の実態や可能性の一端の解明につながった。

第 2 の「関係性」は、その一般の人びとが抱いている国家観におけるズレであった。ここで言う国家観とは、理念的な国家の成立条件とされる国内主権と国外主権の両者に対する認識によって定義された。すなわち、この「関係性」は、現行の統治機構（政府）と政治共同体（国家）をどの程度受け入れているか、その度合いの組み合わせによって規定されるものとされた。本研究で取り扱った紛争国に限って言えば、その組み合わせの一般化・理論化は必ずしも容易ではないことが浮き彫りになり、個別事例の実証研究としての意義を確認できた半面、「グローバル関係学」としての理論化には分析の方法・手法および着眼点に関する課題が残された。この課題については、今後より多くの事例研究や隣接する学問分野の参照を通して克服していけるものと考えられる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計69件（うち査読付論文 10件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 16件）

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 山尾大・浜中新吾 | 4. 巻 61(3) |
| 2. 論文標題 「ポスト紛争社会の政治動員と投票率の関係 イラクにおけるサーベイ実験から」 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 『アジア経済』 | 6. 最初と最後の頁 2,27 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24765/ajiakeizai.61.3_2 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |
| 1. 著者名 Dai Yamao | 4. 巻 28 |
| 2. 論文標題 “Re-securitization as Evasion of Responsibility: A Quantitative Text Analysis of Refugee Crisis in Major Arabic Newspapers” | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 Journal of Population and Social Studies | 6. 最初と最後の頁 1,26 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |
| 1. 著者名 遠藤貢 | 4. 巻 538 |
| 2. 論文標題 「アッシャバープの変容と展開」 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 『中東研究』 | 6. 最初と最後の頁 38,51 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |
| 1. 著者名 遠藤貢 | 4. 巻 11 |
| 2. 論文標題 「中国-アフリカ関係の現在」 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 『東亜』 | 6. 最初と最後の頁 18,25 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 540(3) |
| 2. 論文標題 「内戦後最大の政治経済危機に直面するレバノン」 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 『中東研究』 | 6. 最初と最後の頁 7,26 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 66 |
| 2. 論文標題 「「アラブの春」から10年：イスラム主義はなぜ敗北したのか」 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 『外交』 | 6. 最初と最後の頁 110,115 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 青山弘之・高岡豊・浜中新吾・末近浩太・錦田愛子・今井宏平・山尾大・溝淵正季 | 4. 巻 54 |
| 2. 論文標題 「「中東世論調査(シリアの農業と食料安全保障2020-2021)」単純集計報告書」 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 CMEPS-J Report | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 204 |
| 2. 論文標題 「日本国際政治学会における中東研究の変遷」(特別連載「日本の国際政治学 日本国際政治学会における研究の系譜と特徴」第7章) | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 『国際政治』 | 6. 最初と最後の頁 117,125 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11375/kokusaiseiji.204_117 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 10 |
| 2. 論文標題 「「文明の衝突」の正体を見極める：「イスラム教徒によるテロ事件」の構造とは」 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 『Voice』 | 6. 最初と最後の頁 116,123 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 9 |
| 2. 論文標題 「イスラーム主義とは何か：政治と宗教の関係を考える（連載「イスラーム主義を読む」（1））」 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 『治安フォーラム』 | 6. 最初と最後の頁 47,55 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 10 |
| 2. 論文標題 「ジハード主義とは何か：宗教と暴力の関係を考える（連載「イスラーム主義を読む」（2））」 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 『治安フォーラム』 | 6. 最初と最後の頁 40,48 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 11 |
| 2. 論文標題 「グローバル・ジハードの虚実：脅威の正体を見極める（連載「イスラーム主義を読む」（3））」 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 『治安フォーラム』 | 6. 最初と最後の頁 57,66 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------|
| 1. 著者名 Kota Suechika | 4. 巻 1 |
| 2. 論文標題 “ Even Globalized, the World is Uneven: The Pandemic and Area Studies ” | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Asia and Japan Today 1: Researchers ’ Essays at the Arrival of a New Covid Era | 6. 最初と最後の頁 6,9 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 Suechika, Kota and Dai Yamao | 4. 巻 7 |
| 2. 論文標題 “ 2019 Opinion Poll in Libya: Sampling Method and Descriptive Statistics ” | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Relational Studies on Global Crises Online Paper Series: Research Report (Online Paper Series No.14: Research Report No.7) | 6. 最初と最後の頁 1,18 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Hiroyuki AOYAMA, Yutaka TAKAOKA, Shingo HAMANAKA, Kota SUECHIKA, Aiko NISHIKIDA, Kohei IMAI, Dai YAMAO and Masaki MIZOBUCHI | 4. 巻 55 |
| 2. 論文標題 “ Report of Simple Tally of “ Middle East Public Opinion Survey (Agriculture and Food Security in Syria 2020-2021) ” | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 CMEPS-J Report | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 Yamao, Dai and Shingo Hamanaka. | 4. 巻 6(4) |
| 2. 論文標題 “ Political mobilization and its impact on voter turnout: A survey experiment in Iraq ” | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 Asian Journal of Comparative Politics | 6. 最初と最後の頁 421,440 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/20578911211039631 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 11 |
| 2. 論文標題 「岐路に立つイラク 人民動員隊の拡大と経済危機、そして蔓延する不満」 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 『ROLES REPORT』 | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 69 |
| 2. 論文標題 「外部介入が引き起こした激動の中東国際秩序 イラクを軸に「失敗の歴史」を見る」 | 5. 発行年 2021年 |
| 3. 雑誌名 『外交』 | 6. 最初と最後の頁 62,67 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 37-11 |
| 2. 論文標題 「レバノン・ヒズブラーの「二正面抵抗」のフレーミング：ハサン・ナスルッラー書記長演説の計量テキスト分析」 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 『日本中東学会年報』 | 6. 最初と最後の頁 31,59 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24498/ajames.37.2_31 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 15 |
| 2. 論文標題 「中東政治研究におけるイスラーム主義の諸相：「方法論的セキュラリズム」を超えて」 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 『イスラーム世界研究』 | 6. 最初と最後の頁 205,221 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 49 |
| 2. 論文標題 「民主化による安全保障とイスラーム」 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 『世界思想』 | 6. 最初と最後の頁 32,36 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 青山弘之・末近浩太・浜中信吾・高岡豊・山尾大・錦田愛子・今井宏平・溝渕正季 | 4. 巻 58 |
| 2. 論文標題 「「中東世論調査(シリア2021-2022)」単純集計報告」 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 CMEPS-J Report | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 末近浩太・山尾大 | 4. 巻 59 |
| 2. 論文標題 「「中東世論調査(リビア2019)」単純集計報告書」 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 CMEPS-J Report | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 543(3) |
| 2. 論文標題 「政治不信と選挙制度変更が変えたもの 第5回イラク議会選挙(2021年10月10日)」 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 『中東研究』 | 6. 最初と最後の頁 122,143 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|----------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 545(2) |
| 2. 論文標題 「レバノン第20期国民議会選挙と「二大政党体制」の動揺」 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 『中東研究』 | 6. 最初と最後の頁 86,100 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|--------------------|
| 1. 著者名 末近浩太・山尾大 | 4. 巻 38(1) |
| 2. 論文標題 「「アラブの春」後のリビアにおける国家再建と民主化 2019年実施の世論調査の結果から」 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 『日本中東学会年報』 | 6. 最初と最後の頁 1,30 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 Kota SUECHIKA, Hiroyuki AOYAMA and Yusaku YONEDA | 4. 巻 8 |
| 2. 論文標題 “2021 Opinion Poll in Syria: Sampling Method and Descriptive Statistics” | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 “Relational Studies on Global Crises” Online Paper Series, No. 15, Research Report No. 8 | 6. 最初と最後の頁 1,65 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 706 |
| 2. 論文標題 「米国の軍事介入とイラク国家建設の蹉跌」 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 『国際問題』 | 6. 最初と最後の頁 24,32 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 545(2) |
| 2. 論文標題 「シリア派割れ」と変わらない政治構造 第5回イラク議会選挙後の新政権形成をめぐる闘争」 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 『中東研究』 | 6. 最初と最後の頁 101,112 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 75 |
| 2. 論文標題 「総選挙から1年 政治危機続くイラク カギ握るサドル派の思惑」 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 『外交』 | 6. 最初と最後の頁 106,111 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 Sakai, Keiko, Akiko Yoshioka, Dai Yamao, and Ali Taher al-Hamood | 4. 巻 28 |
| 2. 論文標題 From Protest to Ballot Box: 2021 election in Iraq and its national, regional and local consequences | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 RSGC Occational Paper | 6. 最初と最後の頁 1,75 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 遠藤貢・中尾武彦・川島真 | 4. 巻 75 |
| 2. 論文標題 「なぜ今グローバル・サウスを論じるのか」(鼎談) | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 『外交』 | 6. 最初と最後の頁 6,17 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 青山弘之・末近浩太・浜中信吾・高岡豊・山尾大・錦田愛子・今井宏平・溝淵正季・末近浩太 | 4. 巻 68 |
| 2. 論文標題 「中東世論調査（シリア2022）」単純集計報告」 | 5. 発行年 2022年 |
| 3. 雑誌名 CMEPS-J Report | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

| | |
|---|--------------------|
| 1. 著者名 千坂知世・山尾大・末近浩太 | 4. 巻 64(1) |
| 2. 論文標題 「イスラーム革命防衛隊の海外派兵をめぐるイラン国民の認識：2021年サーベイ実験の結果から」 | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 『アジア経済』 | 6. 最初と最後の頁 2,26 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.24765/ajiakeizai.64.1_2 | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Hiroyuki AOYAMA, Kota SUECHIKA, Shingo HAMANAKA, Yutaka TAKAOKA, Dai YAMAOKA, Aiko NISHIKIDA, Kohei IMAI and Masaki MIZOBUCHI | 4. 巻 69 |
| 2. 論文標題 “ Report of Simple Tally of “ Middle East Public Opinion Survey (Syria 2022) ” ” | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 CMEPS-J Series | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 遠藤貢 | 4. 巻 24 |
| 2. 論文標題 「国際政治の構造的変化と危機：アフリカに焦点を当てて」 | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 SRIDジャーナル | 6. 最初と最後の頁 - |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 遠藤貢 | 4. 巻 210 |
| 2. 論文標題 「アフリカにおける政治体制変動の評価をめぐって 『新自由主義的 専制体制』の生成メカニズム 」 | 5. 発行年 2023年 |
| 3. 雑誌名 『国際政治』 | 6. 最初と最後の頁 63,78 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11375/kokusaiseiji.210_63 | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 167 |
| 2. 論文標題 ヒズブッラーとイラン：1980年代初頭の中東政治の構造変容 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 季刊アラブ | 6. 最初と最後の頁 9-11 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 18(9) |
| 2. 論文標題 レバノン：政治改革への一進一退 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 中東動向分析 | 6. 最初と最後の頁 27-34 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|-------------------|
| 1. 著者名 今井宏平・高岡豊・浜中新吾・末近浩太・錦田愛子・山尾大・溝淵正季・青山弘之 | 4. 巻 51 |
| 2. 論文標題 中東世論調査 (トルコのシリア難民2019) 単純集計報告書 | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 CMEPS-J Report (web) | 6. 最初と最後の頁 web |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 No.8 |
| 2. 論文標題 “ The Conflict in Iraq and its Impact on Perception toward Statehood: Based on Poll Surveys ” | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 “ Relational Studies on Global Crises ” Online Paper Series : Working Paper | 6. 最初と最後の頁 1-26 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 No.9 |
| 2. 論文標題 ISのインパクトをはかる イラク主要3紙の量的テキスト分析から | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 新学術領域「グローバル関係学」オンライン・ペーパー・シリーズ：ワーキングペーパー | 6. 最初と最後の頁 1-31 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 No.10 |
| 2. 論文標題 送り出し国で難民危機はいかに報道されたのか アラビア語主要紙の量的テキスト分析から | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 新学術領域「グローバル関係学」オンライン・ペーパー・シリーズ：ワーキングペーパー | 6. 最初と最後の頁 1-21 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 2月号 |
| 2. 論文標題 「勝利」したイラク人民動員隊とイラン革命防衛隊 ソレイマーニー司令官殺害の政治的インパクトを 考える | 5. 発行年 2020年 |
| 3. 雑誌名 中東協力センターニュース | 6. 最初と最後の頁 1-12 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 松本弘 | 4. 巻 259 |
| 2. 論文標題 近代アラブにおける選挙の導入 | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 世界史の研究 | 6. 最初と最後の頁 48-51 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 671 |
| 2. 論文標題 「「IS後」のシリア紛争：輻輳する3つの「テロとの戦い」(焦点：中東の新たな課題)」 | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 国際問題 | 6. 最初と最後の頁 34-48 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|----------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 Vol.2 No.533 |
| 2. 論文標題 「レバノン第19期国民議会選挙とヒズブラーの躍進」 | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 中東研究 | 6. 最初と最後の頁 68-84 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 49 |
| 2. 論文標題 「9年ぶりに実施されたレバノン総選挙：「イランの影響力拡大」は本当か？」 | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 外交 | 6. 最初と最後の頁 84-89 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 No.910 |
| 2. 論文標題 「レバノン総選挙：「ヒズブッラー躍進」の意味（世界の潮）」 | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 世界 | 6. 最初と最後の頁 25-28 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|--------------------|
| 1. 著者名 Suechika, Kota | 4. 巻 3 |
| 2. 論文標題 “ 2017 Opinion Poll in Syria: Sampling Method and Descriptive Statistics ” | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 Relational Studies on Global Crises Online Paper Series: Research Report | 6. 最初と最後の頁 1-31 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

| | |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名 Yamao, Dai | 4. 巻 12(2) |
| 2. 論文標題 From Regional Politics to Street Demonstrations: Changes in the Iraqi Communist Party's Political Strategies in the Post-war Era | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 International Journal of Contemporary Iraqi Studies | 6. 最初と最後の頁 147-165 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 533 |
| 2. 論文標題 「政治不信がもたらした組織政党の躍進 第4回イラク議会選挙（2018年5月）の分析」 | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 中東研究 | 6. 最初と最後の頁 37-67 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 194 |
| 2. 論文標題 「暴力を拡散させた体制転換 イラクの事例から」 | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 国際政治 | 6. 最初と最後の頁 29-45 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 Yamao, Dai | 4. 巻 4 |
| 2. 論文標題 "2017 Opinion Poll in Iraq: Sampling Method and Descriptive Statistics" | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 Relational Studies on Global Crises Online Paper Series: Research Report | 6. 最初と最後の頁 1-43 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|--------------------|
| 1. 著者名 Kubo, Keiichi and Osmic, Amer | 4. 巻 3 |
| 2. 論文標題 "2017 Opinion Poll in Bosnia and Herzegovina: Sampling Method and Descriptive Statistics" | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 Relational Studies on Global Crises Online Paper Series: Research Report | 6. 最初と最後の頁 1-34 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 42巻2号 |
| 2. 論文標題 中東政治におけるイスラーム主義運動：古くて新しい問い | 5. 発行年 2017年 |
| 3. 雑誌名 中東協力センターニュース | 6. 最初と最後の頁 17,27 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 7月号 |
| 2. 論文標題 混迷するシリアと民主主義のゆくえ | 5. 発行年 2017年 |
| 3. 雑誌名 潮 | 6. 最初と最後の頁 52,56 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 45巻18号 |
| 2. 論文標題 シリア紛争の(批判的)地政学:「未完の物語」としての「シリア分割」 | 5. 発行年 2017年 |
| 3. 雑誌名 現代思想 | 6. 最初と最後の頁 109,119 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 12 No.1 |
| 2. 論文標題 Strategies, Dynamics and Outcomes of Hezbollah's Military Intervention in the Syrian Conflict | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 Asian Journal of Middle Eastern and Islamic Studies | 6. 最初と最後の頁 89,98 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|--------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 1月号 |
| 2. 論文標題 ISなきイラクをめぐる競合 選挙戦略とクルディスタン地域政府(KRG)の住民投票 | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 中東協力センターニュース | 6. 最初と最後の頁 8,28 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 51 |
| 2. 論文標題 シリアの危機をどう捉えるか：「未完の物語」としての「シリア分割」 | 5. 発行年 2016年 |
| 3. 雑誌名 日本の科学者 | 6. 最初と最後の頁 12,17 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 巻 256 |
| 2. 論文標題 レバノン：「決めない政治の行方」 | 5. 発行年 2017年 |
| 3. 雑誌名 アジ研ワールドトレンド | 6. 最初と最後の頁 12,13 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|-------------------|
| 1. 著者名 松本弘 | 4. 巻 248 |
| 2. 論文標題 イエメンの部族とサラフィスト ホーシー派伸張の背景 | 5. 発行年 2016年 |
| 3. 雑誌名 アジ研ワールド・トレンド | 6. 最初と最後の頁 4,7 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 松本弘 | 4. 巻 64(9) |
| 2. 論文標題 イエメン内戦の背景と特質 | 5. 発行年 2016年 |
| 3. 雑誌名 海外事情 | 6. 最初と最後の頁 18,29 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 松本弘 | 4. 巻 17 |
| 2. 論文標題 モロッコの多党制 その特質と要因 | 5. 発行年 2017年 |
| 3. 雑誌名 大東アジア学論集 | 6. 最初と最後の頁 61,85 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 64(9) |
| 2. 論文標題 「古参」幹部の政治か、合理的政府の形成か アバーディー改革が惹起した政治構造をめぐるポリティクス | 5. 発行年 2016年 |
| 3. 雑誌名 海外事情 | 6. 最初と最後の頁 63,77 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 256 |
| 2. 論文標題 イラク 錯綜する政治・軍事対立と描き得ぬ未来 | 5. 発行年 2017年 |
| 3. 雑誌名 アジ研ワールドトレンド | 6. 最初と最後の頁 18,19 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|---|---------------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 巻 527 |
| 2. 論文標題 介入の縮小という隘路 オバマ政権のイラク政策と広がる宗派対立 | 5. 発行年 2016年 |
| 3. 雑誌名 中東研究 | 6. 最初と最後の頁 14,27 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

| | |
|--|---------------------|
| 1. 著者名 松本弘 | 4. 巻 526 |
| 2. 論文標題 イエメンにおける政治と部族 | 5. 発行年 2016年 |
| 3. 雑誌名 中東研究 | 6. 最初と最後の頁 33,43 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計67件 (うち招待講演 6件 / うち国際学会 41件)

| |
|---|
| 1. 発表者名 Kota Suechika |
| 2. 発表標題 “Syria, JCPOA and the New US Administration” |
| 3. 学会等名 The 8th IPIS-SPF Joint Roundtable, Webinar “Regional and International Issues” |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Kota Suechika |
| 2. 発表標題 “Critical Geopolitics of the Syrian Conflict: The Territorial Partitions of Bilad al-Sham and Beyond,” |
| 3. 学会等名 The 23rd Mediterranean Studies Association Annual International Congress (国際学会) |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Kota Suechika |
| 2. 発表標題 “Israeli Zionists or Syrian Takfiris: A Quantitative Analysis of Hezbollah’s Framing of Resistance” |
| 3. 学会等名 26th World Congress of Political Science (International Political Science Association, IPSA) (国際学会) |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Kota Suechika |
| 2. 発表標題 “Hezbollah’s Framing of Resistance: A Quantitative Text Analysis of Hasan Nasrallah’s Speeches, 2005-18,” |
| 3. 学会等名 The KAMES-AFMA International Conference (国際学会) |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Kota Suechika |
| 2. 発表標題 “Hezbollah’s Framing of the Two-front Resistance: A Quantitative Analysis of Hasan Nasrallah’s Speeches” |
| 3. 学会等名 Middle East Studies Association (MESA), The 55th Annual Meeting (国際学会) |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 末近浩太・山尾大 |
| 2. 発表標題 「「アラブの春」後のリビアにおける国家再建と民主化：2019年実施の世論調査の結果から」 |
| 3. 学会等名 現代中東研究コロキウム |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|-----------------------------------|
| 1. 発表者名 山尾大 |
| 2. 発表標題 「戦後イラクにおける包摂性と国民統合の問題」 |
| 3. 学会等名 『国際政治学会2021年度研究大会』 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 千坂知世・山尾大・末近浩太 |
| 2. 発表標題 「イスラーム革命防衛隊の海外派遣をめぐるイラン市民の認識：2021年サーベイ実験の結果から」 |
| 3. 学会等名 科学研究費補助金・新学術領域研究（研究領域提案型）計画研究B02「越境的非国家ネットワーク：国家破綻と紛争」研究会 |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Hamanaka, Shingo and Dai Yamao |
| 2. 発表標題 “Political Mobilization and Its Impact on Voter Turnout: Based on a Survey Experiment in Iraq” |
| 3. 学会等名 Southern Political Science Association Annual Meeting（国際学会） |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Dai Yamao |
| 2. 発表標題 “Measuring Strength of National Integration during Political Crisis in Iraq: based on Quantitative Text Analysis” |
| 3. 学会等名 26th World Congress of Political Science (International Political Science Association, IPSA)（国際学会） |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Keiichi Kubo |
| 2. 発表標題 "Impact of the ICTY on Local Mass Media: Longitudinal Content Analysis of the Serbian Newspapers, 2003-2016" |
| 3. 学会等名 26th World Congress of Political Science (International Political Science Association, IPSA)（国際学会） |
| 4. 発表年 2021年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 千坂知世・山尾大・末近浩太 |
| 2. 発表標題 「イスラーム革命防衛隊の海外派遣をめぐるイラン市民の認識：2021年サーベイ実験の結果から」 |
| 3. 学会等名 科学研究費補助金・新学術領域研究（研究領域提案型）計画研究B02「越境的非国家ネットワーク：国家破綻と紛争」研究会 |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 山尾大・末近浩太 |
| 2. 発表標題 「「アラブの春」以降の対イラン脅威認識の変遷を探る：アラブ諸国主要紙の計量テキスト分析から」 |
| 3. 学会等名 日本国際政治学会2022年度研究大会 |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Kota Suechika |
| 2. 発表標題 “Nation/state-building and Democratization of the Post-Arab Spring Libya: An Analysis of the 2019 Survey” |
| 3. 学会等名 The 24th Mediterranean Studies Association Annual International Congress (国際学会) |
| 4. 発表年 2022年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Suechika, Kota and Dai Yamao |
| 2. 発表標題 "How Do Syrians Perceive Roles of the Resurgent Assad Regime in the Post-Conflict Period?: An Analysis of the 2021 Public Opinion Survey” |
| 3. 学会等名 International Conference “Humanitarian Narratives and Interventions from the Contemporary Middle East,” (国際学会) |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 末近浩太 |
| 2. 発表標題 「基調講演・歴史的シリア（シャーム）研究の新たな挑戦：ロンドンからの眺望」 |
| 3. 学会等名 公開シンポジウム「中東・イスラーム研究の新たな挑戦：コロナ危機を超えて」 |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 末近浩太 |
| 2. 発表標題 「誰がシリアを「変える」のか：紛争、権威主義、そして震災」 |
| 3. 学会等名 緊急シンポジウム「トルコ・シリア地震で何が変わったか：政治研究者が読み解く」現代中東研究コロキウム |
| 4. 発表年 2023年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 末近浩太 |
| 2. 発表標題 Diffusion and Convergence of Statehood in Syria under Conflict: The 2017 Social Survey Analysis |
| 3. 学会等名 Panel 7E “Exploring New Political Dynamics in the Post-IS Middle East,” The 22nd Mediterranean Studies Association Annual International Congress (国際学会) |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 末近浩太・吉川卓郎・横田貴之 |
| 2. 発表標題 Social Disorder, Purged Islamist, and Dysfunctional Humanitarian Intervention over the Arab Authoritarianism: The Case of the Muslim Brotherhood Movements in the 2010s |
| 3. 学会等名 Panel TB15 “How Authoritarianism Endures,” CEEISA-ISA 2019 Joint International Conference (国際学会) |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 末近浩太 |
| 2. 発表標題 Reconsidering the State-Convergence Thesis in Syria under Conflict: A Poll Survey Data Analysis” |
| 3. 学会等名 Panel FD01 “Actors, International Security and Intelligence Education,” ISA International Conference 2019 (国際学会) |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 末近浩太 |
| 2. 発表標題 中東政治研究におけるイスラーム主義：逸脱事例・パラドクス・選択バイアス |
| 3. 学会等名 日本国際政治学会2019年度研究大会・分科会C-3「中東・ポストIS期におけるイスラーム主義運動と中東政治」 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 山尾大 |
| 2. 発表標題 宗派主義の政治的意味をはかる イラク主要紙の量的計量分析 |
| 3. 学会等名 日本中東学会第35回年次大会 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Kinoshita, Hiroko and Dai Yamao |
| 2. 発表標題 A Quantitative Text Analysis on Mobilization of the Electorate by Islamist Parties during the 2018 Iraqi Parliamentary Election |
| 3. 学会等名 International Conference on Global Risk, Security and Ethnicity, IPSA Research Committee 44 (国際学会) |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 山尾大 |
| 2. 発表標題 Measuring the Impact of the IS on Media Reporting: Based on Quantitative Text Analysis of Major Iraqi Newspapers |
| 3. 学会等名 Poltext (国際学会) |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 山尾大 |
| 2. 発表標題 How the Refugee Crisis was Reported in the Middle East: A Quantitative Text Analysis of Major Arabic Newspapers |
| 3. 学会等名 JAIR Annual Convention (国際学会) |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 山尾大 |
| 2. 発表標題 " Re-securitization " as " Evasion of Responsibility " : A Quantitative Text Analysis of Major Arabic Newspapers on Refugee Crisis |
| 3. 学会等名 "Relational Studies on Global Conflicts: International Conference on Resources and Human Mobility" (国際学会) |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 久保慶一 |
| 2. 発表標題 Impact of the ICTY trials on local mass media: quantitative text analysis of the three Serbian Newspapers, 2003-2016 |
| 3. 学会等名 International Political Science Association, Joint Colloquiem (国際学会) |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 久保慶一 |
| 2. 発表標題 International transitional justice and domestic mass media: quantitative text analysis of Serbian newspaper reporting on the ICTY and war crimes |
| 3. 学会等名 2nd annual POLTEXT conference (国際学会) |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 遠藤貢 |
| 2. 発表標題 制度化なき民主体制のバックラッシュ? : サハラ以南アフリカの経験 |
| 3. 学会等名 日本政治学会 (招待講演) |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名 松本弘 |
| 2. 発表標題 イエメン内戦の背景と推移 |
| 3. 学会等名 日本イスラム協会公開講演会 (招待講演) |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|-------------------------------------|
| 1. 発表者名 松本弘 |
| 2. 発表標題 中東地域研究への比較政治学的アプローチ |
| 3. 学会等名 AA研中東 イスラーム教育セミナー (招待講演) |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|----------------------------------|
| 1. 発表者名 松本弘 |
| 2. 発表標題 イエメン内戦の背景と特質 |
| 3. 学会等名 アラビア半島の歴史・文化・社会（招待講演） |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Suechika, Kota |
| 2. 発表標題 "Competitive Statehood in Syria under Conflict: A Poll Survey Analysis" |
| 3. 学会等名 The Fifth World Congress for Middle Eastern Studies (WOCMES), University of Seville, Seville, SPAIN (国際学会) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Suechika, Kota |
| 2. 発表標題 "Diffusion and Convergence of Statehood in Syria under Conflict: A Poll Survey Analysis" |
| 3. 学会等名 25th World Congress of Political Science, International Political Science Association, IPSA (国際学会) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Suechika, Kota |
| 2. 発表標題 "Re-configuration of a 'State' in Syria under Conflict: A Poll Survey Data Analysis" |
| 3. 学会等名 World Social Science Forum 2018 (国際学会) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Suechika, Kota |
| 2. 発表標題 "Is al-Assad's Victory Ending the War in Syria?: Re-examining the State-diffusion Thesis" |
| 3. 学会等名 Relational Studies on Global Conflicts: Toward a New Approach to Contemporary Crises (国際学会) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 末近浩太 |
| 2. 発表標題 「レバノン：「決めない政治」をやめるフリをすることを「決める」」 |
| 3. 学会等名 シンポジウム「アラブの心臓」に何が起こったのか：現代中東の実像を捉える」 |
| 4. 発表年 2019年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 末近浩太 |
| 2. 発表標題 「地域研究は教えられるのか：各国政治・比較政治・国際政治との関係から」 |
| 3. 学会等名 日本比較政治学会2018年度研究大会 |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Kubo, Keiichi |
| 2. 発表標題 "How is Statehood Perceived in Bosnia? An Analysis of the 2017 Survey Data" |
| 3. 学会等名 25th World Congress of Political Science, International Political Science Association, IPSA (国際学会) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Kubo, Keiichi |
| 2. 発表標題 "Attitudes towards the statehood in a deeply-divided society: An analysis of the Bosnian 2017 survey data," 2018 Annual Conference of Taiwanese Political Science Association, "The Changing International Relations and Democratic Governance" |
| 3. 学会等名 Taiwanese Political Science Association (国際学会) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|------------------------------------|
| 1. 発表者名 山尾大 |
| 2. 発表標題 「地域研究と政治学を架橋する イラクを事例に」 |
| 3. 学会等名 日本中東学会 |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 山尾大 |
| 2. 発表標題 「IS後のイラクを支配するのは誰か 第4回議会選挙分析」 |
| 3. 学会等名 緊張高まる中東 イラン、イラク、レバノン、イスラエルの今を分析する(招待講演) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Yamao, Dai |
| 2. 発表標題 "Struggle for State Images in post-war Iraq" |
| 3. 学会等名 The Fifth World Congress for Middle Eastern Studies (WOCMES), University of Seville, Seville, SPAIN (国際学会) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Yamao, Dai |
| 2. 発表標題 "Reconfiguration of State Image in Fighting State Enemy in Iraq" |
| 3. 学会等名 25th World Congress of Political Science, International Political Science Association, IPSA (国際学会) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Yamao, Dai |
| 2. 発表標題 "Negotiating multi vectored state image in fighting state enemy in Iraq" |
| 3. 学会等名 World Social Science Forum 2018 (国際学会) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 Yamao, Dai |
| 2. 発表標題 "Conflict and its Impact on Statehood in Iraq: Based on Poll Surveys" |
| 3. 学会等名 Relational Studies on Global Conflicts: Toward a New Approach to Contemporary Crises (国際学会) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Kubo, Keiichi |
| 2. 発表標題 "Attitudes towards the statehood in a deeply-divided society: An analysis of the Bosnian 2017 survey data" |
| 3. 学会等名 Relational Studies on Global Conflicts: Toward a New Approach to Contemporary Crises (国際学会) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 Kubo, Keiichi |
| 2. 発表標題 "Is Bosnia still a state torn apart? - An analysis of the 2017 poll survey data" |
| 3. 学会等名 World Social Science Forum 2018 (国際学会) |
| 4. 発表年 2018年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 末近浩太 |
| 2. 発表標題 "Sectarianisation" of the Syrian Conflict: Hizballah's Military Intervention and Redefinition of "Resistance" |
| 3. 学会等名 The International Conference on "The Conflicts of Powers in the Middle East: States and Non-States (国際学会) |
| 4. 発表年 2017年 |

| |
|----------------------------|
| 1. 発表者名 遠藤貢 |
| 2. 発表標題 ソマリア：連邦制への現状と課題 |
| 3. 学会等名 日本アフリカ学会研究大会 |
| 4. 発表年 2017年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 遠藤貢 |
| 2. 発表標題 R2P and Protection of Civilians in African Context |
| 3. 学会等名 人間の安全保障学会 (JAHSS) (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年 2017年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 山尾大 |
| 2. 発表標題 A Comparative Study on Reconstruction of National History: Iraqi and Japanese Cases |
| 3. 学会等名 lecture in Mustansiriya University, Baghdad, Iraq |
| 4. 発表年 2017年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 山尾大 |
| 2. 発表標題 A Question of Nation Building in Post War Iraq |
| 3. 学会等名 lecture in the Embassy of Japan in Iraq |
| 4. 発表年 2017年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 久保慶一 |
| 2. 発表標題 Between the Serbian public and the EU: Explaining seemingly contradictory actions and statements of Serbian Politicians on the Issue of Transitional Justice and the Relationship with Neighboring Countries |
| 3. 学会等名 ISA (International Studies Association) International Conference 2017 (国際学会) |
| 4. 発表年 2017年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 未近浩太・吉川卓郎・横田貴之 |
| 2. 発表標題 A New Authoritarian Alliance over the Muslim Brotherhood? Egypt's anti-Islamist Foreign Policy and Re-formation of the Arab Security Alliance |
| 3. 学会等名 CEEISA-ISA 2016 Joint Conference (国際学会) |
| 4. 発表年 2016年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 末近浩太 |
| 2. 発表標題 The Rise of the Pan-Shiites Militia Network: Hizballah's Military Intervention in the Syrian Conflict(s) |
| 3. 学会等名 BRISMES Annual Conference 2016 (国際学会) |
| 4. 発表年 2016年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 末近浩太 |
| 2. 発表標題 Redefining 'Resistance': Hizballah's Military Intervention in the Syrian Conflict and its Consequences |
| 3. 学会等名 The 5th International Forum on Asia and the Middle East (国際学会) |
| 4. 発表年 2016年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 末近浩太 |
| 2. 発表標題 『現代シリアの国家変容とイスラーム』再訪 シリア紛争とメルトダウンする中東政治 |
| 3. 学会等名 現代中東の地殻変動とその眺望 政治・社会・思想の動態的連関を考察する |
| 4. 発表年 2016年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 末近浩太 |
| 2. 発表標題 レバノン・ヒズブッラーによるシリア紛争への軍事介入 |
| 3. 学会等名 イスラーム主義運動は中東政治に何をもたらしたのか：民主化・独裁・内戦 |
| 4. 発表年 2017年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 末近浩太 |
| 2. 発表標題 Strategies, Dynamics, and Outcomes of Hizballah's Military Intervention in the Syrian Conflict |
| 3. 学会等名 International Conference on "Reconstructing State Security and National Integration in the Middle East" (国際学会) |
| 4. 発表年 2017年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 久保慶一 |
| 2. 発表標題 State Capture and the Weakening of Accountability: A Comparative Analysis of Serbia and Macedonia |
| 3. 学会等名 Association for the Study of Nationalities (ASN) (国際学会) |
| 4. 発表年 2016年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 久保慶一 |
| 2. 発表標題 セルビアにおける分裂とねじれ - 戦争責任問題をめぐる政治の動態 |
| 3. 学会等名 日本国際政治学会 |
| 4. 発表年 2016年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 山尾大 |
| 2. 発表標題 Mobilising Sectarianism in the Changing Regional and International Politics: The Case of Iraq |
| 3. 学会等名 24th World Congress of Political Science (International Political Science Association, IPSA) (国際学会) |
| 4. 発表年 2016年 |

| |
|---|
| 1. 発表者名 山尾大 |
| 2. 発表標題 Elite Politics or a Rational Government? Abadi 's Reforms and Rise of Social Movement |
| 3. 学会等名 6th Iraq-Japan Academic Workshop: Post-ISIS Iraq, Searching for a Better Future (国際学会) |
| 4. 発表年 2016年 |

| |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名 山尾大 |
| 2. 発表標題 イスラーム世界とグローバル・ガバナンス |
| 3. 学会等名 グローバル・ガバナンス学会 |
| 4. 発表年 2016年 |

| |
|------------------------------------|
| 1. 発表者名 山尾大 |
| 2. 発表標題 分断社会の多面的な政軍関係 戦後イラクを事例に |
| 3. 学会等名 国際政治学会 |
| 4. 発表年 2016年 |

| |
|--|
| 1. 発表者名 山尾大 |
| 2. 発表標題 How Nation was re-created? Comparative Studies in Post-war Japan and Iraq |
| 3. 学会等名 7th Iraqi Japanese International Conference (国際学会) |
| 4. 発表年 2017年 |

〔図書〕 計43件

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Larbi Sadiki ed., Keiko Sakai, Kota Suechika, Bahgat Korany, Miriam Cooke, Laurie A. Brand, James Gelvin, Gregory Gause III, Ilan Pappé, Robert Bianchi, Mark Tessler, Raymond Hinnebusch, Eberhard Kienle, Francesco Cavatorta, Youcef Bouandel, Beverly Milton-Edwards, Abdelwahab El-Affendi, Raymond William Baker, Naser Ghobadzadeh | 4. 発行年 2020年 |
| 2. 出版社 Routledge | 5. 総ページ数 684 |
| 3. 書名 Routledge Handbook of Middle East Politics | |
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 発行年 2020年 |
| 2. 出版社 筑摩書房 | 5. 総ページ数 336 |
| 3. 書名 『中東政治入門』 | |
| 1. 著者名 酒井啓子編、山尾大、久保慶一、松永泰行、清水耕介、石戸光、水野貴之、池田昭光 | 4. 発行年 2020年 |
| 2. 出版社 岩波書店 | 5. 総ページ数 218 |
| 3. 書名 『グローバル関係学とは何か（シリーズ「グローバル関係学」第1巻）』 | |
| 1. 著者名 Keiko Sakai and Philip Marfleet eds., Dai Yamao, Toby Dodge, Fanar Haddad, Juan Cole, Ali A.K. Ali, Akiko Yoshioka, Raymond Hinnebusch, Ali Granmayeh | 4. 発行年 2020年 |
| 2. 出版社 Routledge | 5. 総ページ数 252 |
| 3. 書名 Iraq since the Invasion: People and Politics in a State of Conflict | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 末近浩太・遠藤貢編、松本弘、小林周、山尾大、久保慶一、増原綾子、鷲田任邦、ミヤ ドゥイ ロスティカ、ウイン ウインアウン カイン、岡野英之 | 4. 発行年 2020年 |
| 2. 出版社 岩波書店 | 5. 総ページ数 272 |
| 3. 書名 『紛争が変える国家（シリーズ「グローバル関係学」第4巻）』 | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 末近浩太編・中村覚監修、山尾大、千坂知世、千葉悠志、青山弘之、坂梨洋、小副川琢、溝淵正季、高岡豊、吉岡明子 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 ミネルヴァ書房 | 5. 総ページ数 276 |
| 3. 書名 『シリア・レバノン・イラク・イラン（シリーズ「中東政治研究の最前線」第2巻）』 | |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 近藤洋平編、松本弘、辻上奈美江、高尾賢一郎、中村覚、後藤真美、大川真由子、大坪玲子、馬場多聞、千葉悠志、保坂修司、齋藤純 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 東京大学中東地域研究センター | 5. 総ページ数 259 |
| 3. 書名 『アラビア半島の歴史・文化・社会』 | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Mitsugi ENDO, Ato Kwamena Onoma, Michael Neocosmos, eds., Motoji Matsuda, Akira Sato, Tamara Enomoto, Toshihiro Abe, Shinichi Takeuchi, Eisei Kurimoto, Kumiko Makino, Artwell Nhemachena | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 Langaa Rpcig | 5. 総ページ数 308 |
| 3. 書名 African Politics of Survival: Extraversion and Informality in Contemporary World | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 佐藤章編、遠藤貢、落合 雄彦、津田 みわ、佐藤 千鶴子 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 アジア経済研究所 | 5. 総ページ数 172 |
| 3. 書名 『サハラ以南アフリカの国家と政治のなかのイスラーム 歴史と現在』 | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 山尾大 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 晃洋書房 | 5. 総ページ数 284 |
| 3. 書名 『紛争のインパクトをはかる 世論調査と計量テキスト分析からみるイラクの国家と国民の再編』 | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 足立研幾・板木雅彦・白戸圭一・鳥山純子・南野泰義編、末近浩太、中本真生子、西村智朗、川村仁子、嶋田晴行、中川涼司、大山真司、林大祐、南川文里、本名純、中戸祐夫、星野郁 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 ミネルヴァ書房 | 5. 総ページ数 312 |
| 3. 書名 『プライマリー国際関係学』 | |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 西尾哲夫・東長靖編著、末近浩太、千葉悠志、相島葉月、足立真理、新井和広、石山俊、稲葉奈々子、岩崎えり奈、鶴戸聡、岡井宏文、北澤義之、黒田賢治、小杉泰、高見要、椿原敦子、長岡慎介、縄田浩志、錦田愛子 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 ミネルヴァ書房 | 5. 総ページ数 392 |
| 3. 書名 『中東・イスラーム世界への30の扉』 | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 日本比較政治学会編、末近浩太、岡本正明、窪田悠一、酒井啓子、安周永、岡田勇、松寄英也、堀抜功二 | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 ミネルヴァ書房 | 5. 総ページ数 208 |
| 3. 書名 『インフォーマルな政治制度とガバナンス（日本比較政治学会年報第23号）』 | |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 Ratuva, Steven, Handy A. Hassan and Radomir Compel eds., Hiroko Kinoshita, Dai Yamao, Michael Blain, Angeline Kearns-Blain, Masaki Kataoka, Mohd Aminul Karim, Jovanie Camacho Espesor, Sergio Luiz Cruz Aguilar, Ryo Nakai, M. Bashir Mobasher, Hala Thabet, Miho Fukui, Chigumi Kawaguchi, Kalyango Ronald Sebba | 4. 発行年 2021年 |
| 2. 出版社 Palgrave Macmillan | 5. 総ページ数 412 |
| 3. 書名 Risk, Identity and Conflict: Theoretical Perspectives and Case Studies | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 今井宏平編著、末近浩太、松尾昌樹、錦田愛子、山尾大、浜中新吾、横田貴之 | 4. 発行年 2022年 |
| 2. 出版社 ミネルヴァ書房 | 5. 総ページ数 264 |
| 3. 書名 『教養としての中東政治』 | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 國分功一郎・清水光明編、遠藤貢、西崎文子、石田淳、大石和欣、高橋哲哉、池内恵、有田伸、羽田正、中島隆博、受田宏之、和田毅、伊達聖伸、田辺明生、馬路智仁 | 4. 発行年 2022年 |
| 2. 出版社 水声社 | 5. 総ページ数 492 |
| 3. 書名 『地球的思考：グローバル・スタディーズの課題』 | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 遠藤貢・阪本拓人編、藤岡悠一郎、佐川徹、川口博子、橋本茉莉、村津蘭、中尾世治、武内進一、出町一恵、松本尚之、玉井隆、有井晴香、仲尾由貴恵、溝辺泰雄 | 4. 発行年 2022年 |
| 2. 出版社 昭和堂 | 5. 総ページ数 274 |
| 3. 書名 『ようこそアフリカ世界へ』 | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Pascal Lottaz, Heinz Gartner and Herbert R. Rebinbogin, eds., Keiichi Kubo, Laurent Goetschel, Hillary Briffa, Herbert Reginbogin, Thomas Roithner, Eva Nowotny, Peter Jankowitsch, Angela Kane, Charis Si En Tay, Yauheni Preiherman, Pascal Lottaz, David X. Noack, Maya Janik, Luca Anceschi, Nasir A. Andisha, Tumurjin Ganbaatar | 4. 発行年 2022年 |
| 2. 出版社 Lexington Books | 5. 総ページ数 318 |
| 3. 書名 Neutral Beyond the Cold: Neutral States and the Post-Cold War International System | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 日本国際問題研究所編、遠藤貢、立山良司、小野沢透、八塚正晃、貫井万里、中西俊裕、齋藤純、吉岡明子、柿崎正樹、鈴木恵美、井堂有子 | 4. 発行年 2023年 |
| 2. 出版社 日本国際問題研究所 | 5. 総ページ数 206 |
| 3. 書名 『移行期にある国際秩序と中東・アフリカ』 | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 黒木英充・後藤恵美編、山尾大、岡井宏文、黒田賢治、野田仁、須永恵美子、長岡慎介、近藤信彰、守田まどか、池田昭光、山根聡、石井正子、熊倉和歌子、太田（塚田）絵里奈、荒井悠太 | 4. 発行年 2023年 |
| 2. 出版社 東京大学出版会 | 5. 総ページ数 292 |
| 3. 書名 『イスラーム信頼学へのいざない』 | |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 酒井啓子編（末近浩太・松本弘） | 4. 発行年 2019年 |
| 2. 出版社 晃洋書房 | 5. 総ページ数 282 |
| 3. 書名 現代中東の宗派問題：政治対立の「宗派化」と「新冷戦」（シリーズ 転換期の国際政治10） | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 松尾秀哉・近藤康史・近藤正基・溝口修平（編著）（久保慶一） | 4. 発行年 2019年 |
| 2. 出版社 ミネルヴァ書房 | 5. 総ページ数 479 |
| 3. 書名 教養としてのヨーロッパ政治 | |

| | |
|---------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 久保慶一 | 4. 発行年 2019年 |
| 2. 出版社 有斐閣 | 5. 総ページ数 282 |
| 3. 書名 争われる正義 - - 旧ユーゴ地域の政党政治と移行期正義 | |

| | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 遠藤 貢、川島 真 他 | 4. 発行年 2019年 |
| 2. 出版社 昭和堂 | 5. 総ページ数 272 |
| 3. 書名 中国の外交戦略と世界秩序：理念・政策・現地の視点 | |

| | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 遠藤 貢、北岡 伸一 他 | 4. 発行年 2020年 |
| 2. 出版社 東洋経済 | 5. 総ページ数 421 |
| 3. 書名 新しい地政学 | |

| | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 高岡豊・溝渕正季編（末近浩太） | 4. 発行年 2019年 |
| 2. 出版社 ミネルヴァ書房 | 5. 総ページ数 336 |
| 3. 書名 『「アラブの春」以後のイスラーム主義運動』 | |

| | |
|--------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 羽場久美子編（遠藤貢） | 4. 発行年 2019年 |
| 2. 出版社 法律文化社 | 5. 総ページ数 172 |
| 3. 書名 『21世紀 大転換期の国際社会：今何が起きているのか』 | |

| | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 落合雄彦編（遠藤貢） | 4. 発行年 2019年 |
| 2. 出版社 晃洋書房 | 5. 総ページ数 315 |
| 3. 書名 『アフリカ安全保障論入門』 | |

| | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 高岡豊・溝淵正季編（山尾大） | 4. 発行年 2019年 |
| 2. 出版社 ミネルヴァ書房 | 5. 総ページ数 336 |
| 3. 書名 『「アラブの春」以後のイスラーム主義運動』 | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 小笠原弘幸編（山尾大） | 4. 発行年 2019年 |
| 2. 出版社 九州大学出版会 | 5. 総ページ数 324 |
| 3. 書名 『トルコ共和国 国民の創生とその変容 アタテュルクとエルドアンのはざままで』 | |

| | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 末近浩太 | 4. 発行年 2018年 |
| 2. 出版社 岩波新書 | 5. 総ページ数 256 |
| 3. 書名 イスラーム主義：もう一つの近代を構想する | |

| | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 村上勇介・帯谷知可編（末近浩太） | 4. 発行年 2017年 |
| 2. 出版社 京都大学学術出版会 | 5. 総ページ数 288 |
| 3. 書名 秩序の砂塵化を超えて：環太平洋パラダイムの可能性 | |

| | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 大西裕編（遠藤貢） | 4. 発行年 2017年 |
| 2. 出版社 ミネルヴァ書房 | 5. 総ページ数 316 |
| 3. 書名 選挙ガバナンスの実態（世界編） | |

| | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 遠藤貢・関谷雄一編 | 4. 発行年 2017年 |
| 2. 出版社 東京大学出版会 | 5. 総ページ数 284 |
| 3. 書名 東大塾 社会人のための現代アフリカ講義 | |

| | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 島田周平・上田元編（遠藤貢） | 4. 発行年 2017年 |
| 2. 出版社 朝倉書店 | 5. 総ページ数 176 |
| 3. 書名 世界地誌シリーズ アフリカ | |

| | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 足立研幾編（山尾大） | 4. 発行年 2018年 |
| 2. 出版社 ミネルヴァ書房 | 5. 総ページ数 312 |
| 3. 書名 セキュリティ・ガバナンス論の脱西欧化と再構築 | |

| | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 グローバル・ガバナンス学会編（山尾大） | 4. 発行年 2018年 |
| 2. 出版社 法律文化社 | 5. 総ページ数 284 |
| 3. 書名 グローバル・ガバナンス学II 主体・地域・新領域 | |

| | |
|------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 月村太郎編著（久保慶一） | 4. 発行年 2017年 |
| 2. 出版社 晃洋書房 | 5. 総ページ数 304 |
| 3. 書名 解体後のユーゴスラヴィア | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 私市正年、浜中新吾、横田貴之、松尾昌樹、今井真土、岩坂将充、岩崎えり奈、金谷美紗、北沢義之、吉川卓郎、小林周、清水雅子、清水学、白谷望、末近浩太、鈴木啓之、高岡豊、辻上奈美江、松本弘、山尾大 | 4. 発行年 2017年 |
| 2. 出版社 明石書店 | 5. 総ページ数 392 |
| 3. 書名 中東・イスラーム研究概説 政治学・経済学・社会学・地域研究のテーマと理論 | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 酒井啓子、池田明史、玉田芳史、鈴木恵美、井上あえか、松本弘、久保慶一、山尾大、末近浩太、五十嵐誠一、横田貴之、増原綾子、松永泰行、鈴木絢女 | 4. 発行年 2016年 |
| 2. 出版社 晃洋書房 | 5. 総ページ数 328 |
| 3. 書名 途上国における軍・政治権力・市民社会 21世紀の「新しい」政軍関係 | |

| | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名 松本弘 | 4. 発行年 2016年 |
| 2. 出版社 山川出版社 | 5. 総ページ数 87 |
| 3. 書名 ムハンマド・アブドゥフ イスラームの改革者 | |

| | |
|---|-----------------|
| 1. 著者名 Michael R. Auslin, Daniel E. Bob, Dennis Blair, Yasushi Akashi, Larry Diamond, David J. Kramer, Yasunobu Sato, Tsuneo Akaha, David I. Steinberg, Aung Din, Richard C. Kraemer, Mitsugi Endo | 4. 発行年 2017年 |
| 2. 出版社 Washington, DC: Sasakawa Peace Foundation in USA | 5. 総ページ数 126 |
| 3. 書名 U.S.-JAPAN APPROACHES TO DEMOCRACY PROMOTION | |

| | |
|--|-----------------|
| 1. 著者名 長沢栄治、栗田禎子、板垣雄三、臼杵陽、田浪亜央江、山岸智子、山尾大、黒木英充、宮田律、佐原徹哉、鈴木規夫、水谷周、尾崎英紀、役重善洋、小田切拓、飛内悠子、宮治美江子、塩尻和子、岡野内正 | 4. 発行年 2016年 |
| 2. 出版社 大月書店 | 5. 総ページ数 264 |
| 3. 書名 中東と日本の針路 「安保法制」がもたらすもの | |

〔産業財産権〕

〔その他〕

| |
|---|
| <p>新学術研究「グローバル関係学」グローバル秩序の溶解と新しい危機を超えて http://www.shd.chiba-u.jp/gblcrss/index.html B02 越境的非国家ネットワーク：新学術領域「グローバル関係学」 http://www.shd.chiba-u.jp/gblcrss/group_B02/B02_index.html B02 越境的非国家ネットワーク：新学術領域「グローバル関係学」 http://www.shd.chiba-u.jp/gblcrss/group_B02/B02_index.html</p> |
|---|

6. 研究組織

| | 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号) | 所属研究機関・部局・職 (機関番号) | 備考 |
|-------|---|---|----|
| 研究分担者 | 松本 弘 (MATSUMOTO Hiroshi) (10407653) | 大東文化大学・国際関係学部・教授 (32636) | |
| 研究分担者 | 久保 慶一 (KUBO Keiichi) (30366976) | 早稲田大学・政治経済学術院・教授 (32689) | |
| 研究分担者 | 遠藤 貢 (ENDO Mitsugi) (70251311) | 東京大学・大学院総合文化研究科・教授 (12601) | |
| 研究分担者 | 山尾 大 (YAMA O Dai) (80598706) | 九州大学・比較社会文化研究院・准教授 (17102) | |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計3件

| | |
|--|--------------------|
| 国際研究集会 グローバル関係学2018年度国際会議「Global Refugee Crisis」シンガポール・国立シンガポール大学中東研究所 | 開催年 2017年～2017年 |
| 国際研究集会 グローバル関係学2018年度国際会議「Relational Studies on Global Conflicts」セルビア・社会科学研究所 | 開催年 2018年～2018年 |
| 国際研究集会 グローバル関係学2019年度国際会議「Resources and Human Mobility」タイ・マヒドン大学インターナショナルカレッジ | 開催年 2019年～2019年 |

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 | | | |
|---------|-----------------------------------|-------------------|--|--|
| | | | | |
| オーストリア | University of Vienna | Danube University | | |
| シリア | SOCPS (シリア世論調査研究センター) | | | |
| カナダ | People Analytics Inc. (IRAN POLL) | | | |
| ケニア | TIFA Research Limited (ソマリ調査) | | | |

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 | | | |
|--------------|------------------------------------|--|--|--|
| リビア | Diwan Marketing Research | | | |
| ボスニア・ヘルツェゴビナ | University of Sarajevo (IDIFPN) | | | |